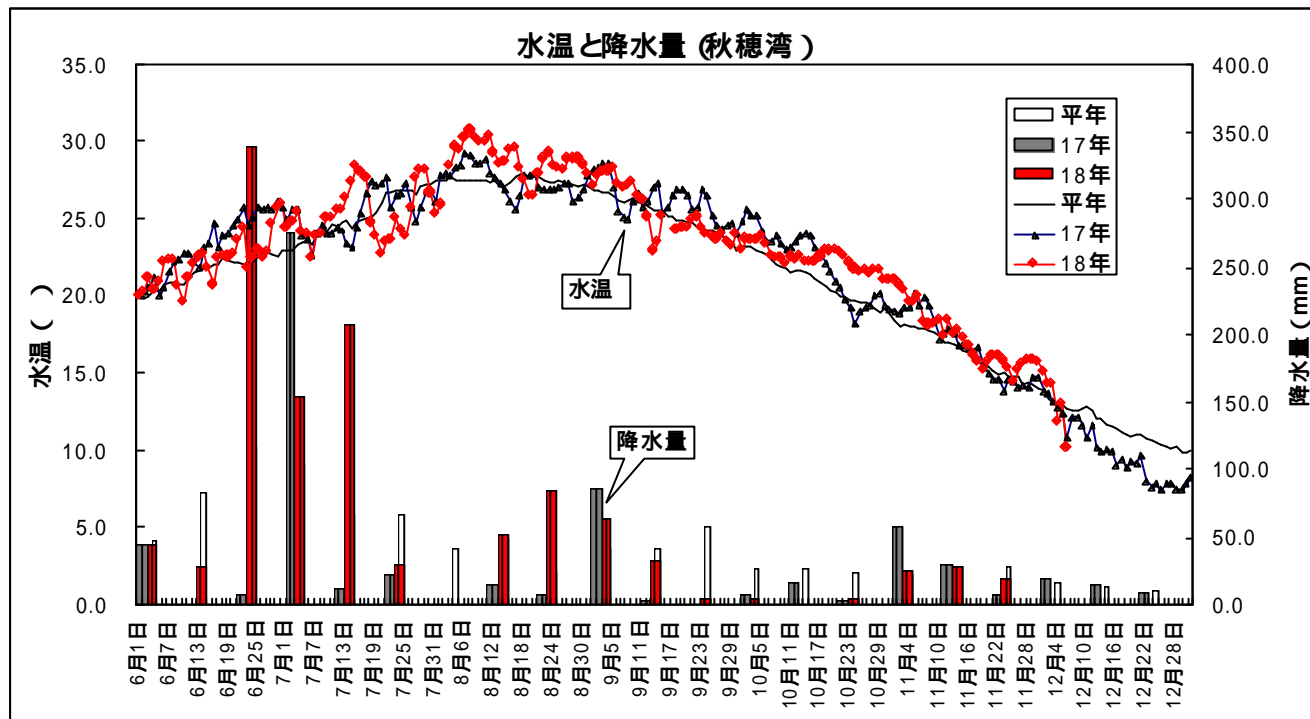


## 1 気象・海況

### (1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は 12月 3日まで平年より1~ 15 高く推移していましたが、冷え込みにより急激に低下し、平年より3 低くなっています。12月 6日の秋穂湾の水温は 10.1 となっています。各漁場の 12月 4日から5日の水温は下関地区 12 、宇部地区で 1.15~ 14.8 、防府地区 16.5 となっています。1月中・下旬は断続的に降水があり、1月中旬の降水量は 28mm (平年比 : 132%) 下旬の降水量 19mm (平年比 : 67%) となっています。



### (2) 栄養塩

地区	DN	PO <sub>4</sub> -P
下関地区	平均 17ｶﾞﾝ(低 169~ 高 173ｶﾞﾝ) 平年比 12%、前年比 14%	平均 14ｶﾞﾝ(低 14~ 高 14ｶﾞﾝ) 平年比 115%、前年比 12%
宇部地区	平均 26ｶﾞﾝ(低 11~ 高 79ｶﾞﾝ) 平年比 32%、前年比 52%	平均 9ｶﾞﾝ(低 7~ 高 13ｶﾞﾝ) 平年比 79%、前年比 100%
防府地区	平均 32ｶﾞﾝ(低 31~ 高 33ｶﾞﾝ) 平年比 54%、前年比 52%	平均 10ｶﾞﾝ(低 10~ 高 11ｶﾞﾝ) 平年比 84%、前年比 75%

宇部地区のDNは著しくかけ離れた値を除いています。

## 2 養殖状況

県下全域で食害及び葉体流失による生産遅延・低迷等の被害が発生しています。特に小野田地区で深刻な状況となっています。防府地区、宇部岬地区、新宇部地区、下関地区では 回目の摘採はほぼ終了し、2回目の摘採に入っています。藤曲浦地区は 回目の摘採中。生産量は葉体流失の影響から伸び悩んでいる地区がほとんどで昨年同時期に比べ大幅に生産枚数が減少しています。しかし、色落ちやあかぐされ等の病気の大規模な感染は確認されていません。

## 3 他地区の状況

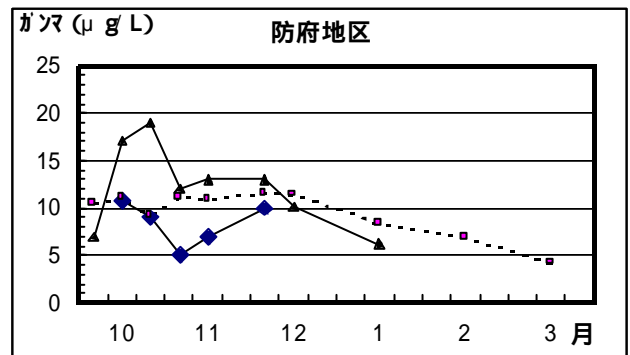
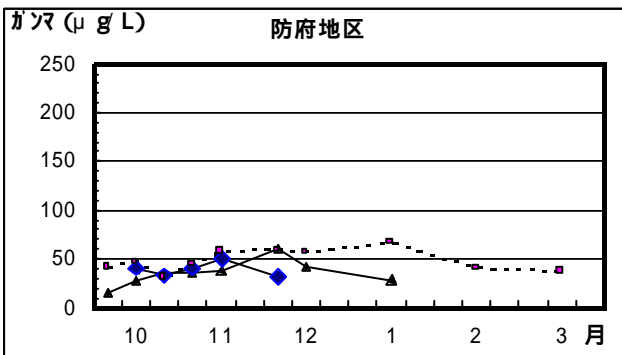
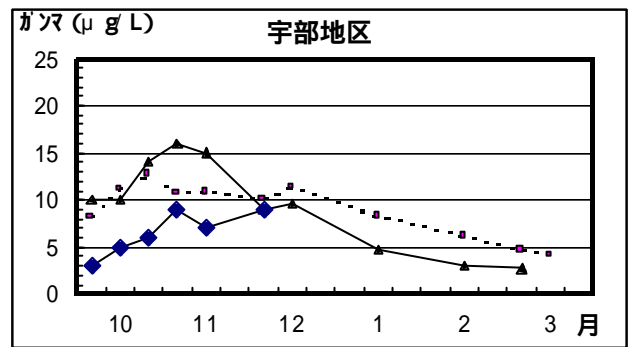
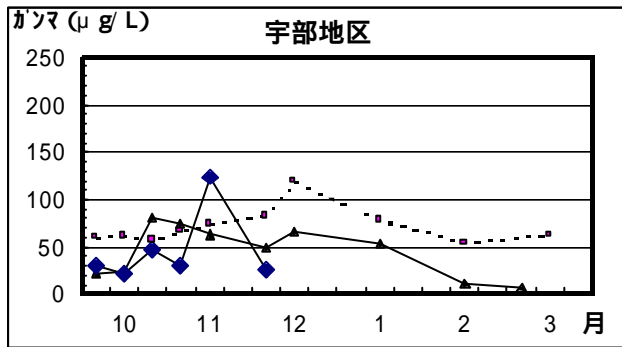
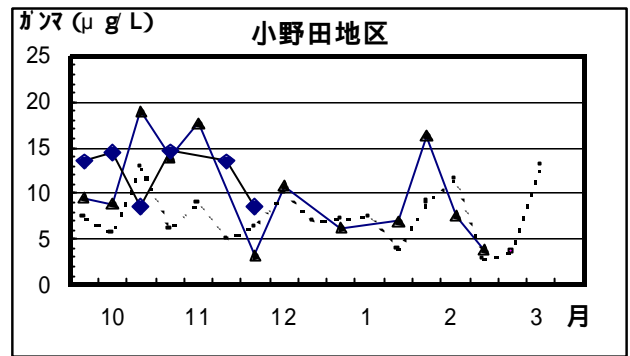
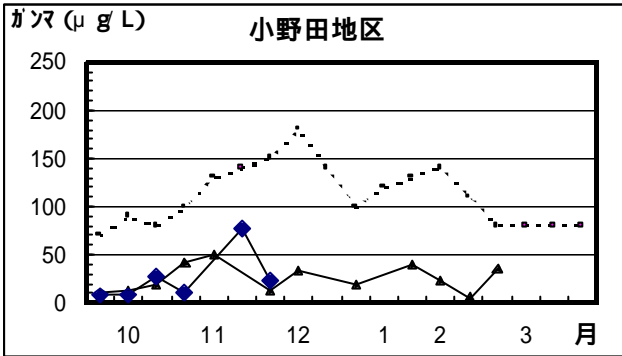
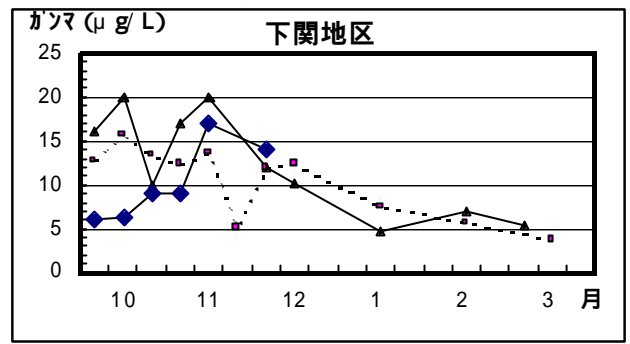
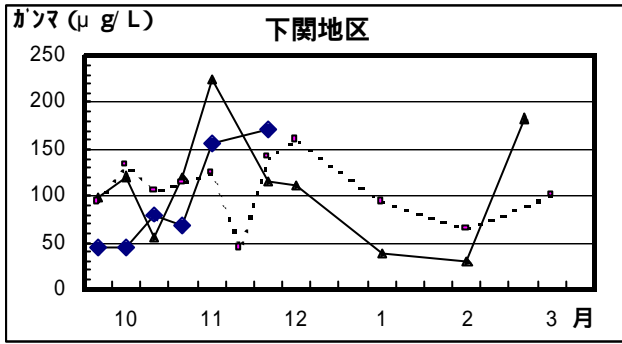
有明海地区 : 4~ 5回目の摘採。秋芽撤去日も決定し、中旬から冷凍網出庫予定。

瀬戸内地区 : 葉体流失、成長不良等により生産低調。第 回共販開催が決定しているのは山口、香川のみ。

栄養塩調査結果 ( 12月 5日 )

( D I N )

( P O<sub>4</sub>- P )



( - 18年度、 · 17年度、 ... 平年、小野田地区分析 :山陽小野田市環境調査センター